

みずほCustomer Desk Report 2025/10/15 号(As of 2025/10/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	152.50
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	152.46	1.1563	176.23	1.3332	0.6512
SYD-NY High	152.61	1.1615	176.43	1.3351	0.6521
SYD-NY Low	151.61	1.1543	175.38	1.3249	0.6441
NY 5:00 PM	151.82	1.1608	176.09	1.3320	0.6485
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	46,270.46	202.88	日本2年債	0.8900%	▲0.0300%
NASDAQ	22,521.70	▲ 172.91	日本10年債	1.6600%	▲0.0300%
S&P	6,644.31	▲ 10.41	米国2年債	3.4838%	▲0.0437%
日経平均	46,847.32	▲ 1,241.48	米国5年債	3.6100%	▲0.0435%
TOPIX	3,133.99	▲ 63.60	米国10年債	4.0302%	▲0.0279%
シカゴ日経先物	47,095.00	▲ 30.00	独10年債	2.6067%	▲0.0233%
ロンドンFT	9,452.77	9.90	英10年債	4.5865%	▲0.0685%
DAX	24,236.94	▲ 150.99	豪10年債	4.2590%	▲0.0450%
ハンセン指数	25,441.35	▲ 448.13	USDJPY 1M Vol	10.14%	▲0.09%
上海総合	3,865.23	▲ 24.27	USDJPY 3M Vol	9.74%	0.01%
NY金	4,163.40	30.40	USDJPY 6M Vol	9.75%	0.03%
WTI	58.70	▲ 0.79	USDJPY 1M 25RR	▲0.86%	Yen Call Over
CRB指数	294.51	▲ 1.03	EURJPY 3M Vol	8.31%	▲0.05%
ドルインデックス	99.05	▲ 0.22	EURJPY 6M Vol	8.60%	0.07%

東京

東京時間のドル円は152.46レベルでオープン。午前は152円台前半で小動きだったが、米中貿易摩擦懸念や国内の政治不安から午後に日経平均株価の下落幅が拡大するとドル円も下落。151.63まで下げた後に151.77レベルで海外時間に渡った。

ロンドン

ロンドン市場のドル円は、151.77レベルでオープン。朝方、英8月失業率が予想外に上昇したことからドルが英ポンドに対して強含む展開にドル円もやや上昇すると152円台を回復。152.11レベルでNYに渡った。

ニューヨーク

NY市場のドル円は特段注目の経済指標発表が無い中、パウエルFRB議長が「FRBが数か月以内にバランスシート縮小停止の可能性はある」、「労働市場はかなり著しい下振れリスクを示している」等との発言を受け、米金利の低下と共に151.61まで売られる。午後は151.70付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、151.82レベルでクローズ。一方、ユーロドルは米金利の低下に伴ったドル売りが支えとなり、1.1615まで上伸する底堅い推移。午後は高値圏の1.1610付近を中心とした推移が続き、1.1608レベルでクローズ。

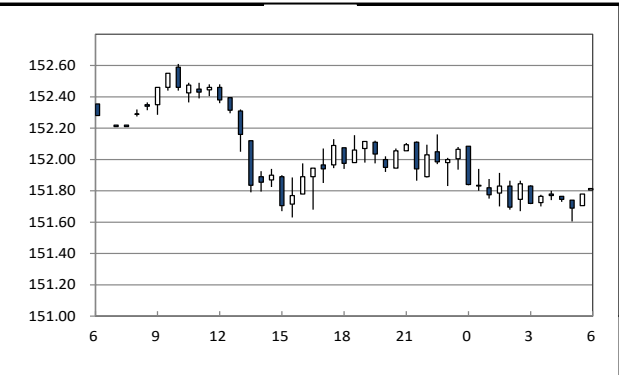
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月14日	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	8月 4.7%	4.8%
	15:00	英 ILO失業率	8月 4.8%	4.7%
	18:00	独 ZEW景気期待/調査現状指数	10月 39.3/-80.0	41.1/-74.2
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	10月 22.7	-
10月15日	01:20	米 パウエルFRB議長 講演	「労働市場はかなり著しい下振れリスクを示している」	

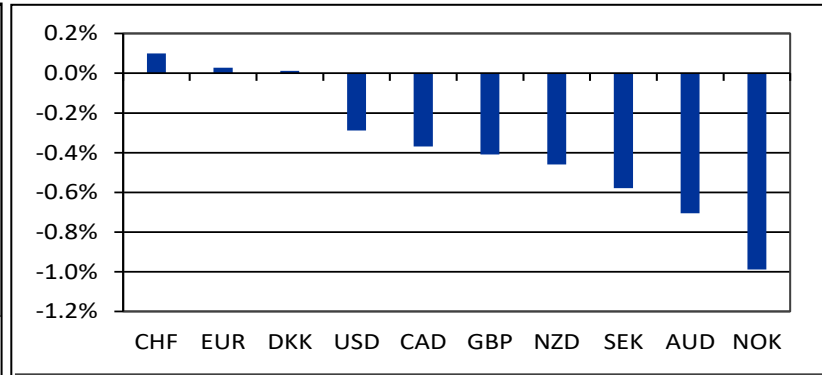
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月15日	10:30	中 PPI(前年比)	9月 -2.3%	-2.9%
	10:30	中 CPI(前年比)	9月 -0.2%	-0.4%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	10月 -1.8	-8.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-152.50	1.1500-1.1650	175.50-177.00

【マーケット・インプレッション】

落ち着いた米中貿易対立だが、昨日中国が韓国造船大手の米子会社に対し米国の対中調査に協力したとの理由で制裁を科すと発表したことで激化懸念が再び再燃している。さらに、パウエルFRB議長が講演で雇用の下振れリスクについて言及したことで米長期金利が低下。ドル売り優勢の展開となっている。本日は米10月NY州製造業景況指数、ページブック、ミランFRB理事やウォラー理事の講演を予定しており、一段の米金利低下が進むとドル売りも進むだろう。一方で国内に目を向けると、政治情勢の不透明感による高市トレードの巻き戻しが進んだものの、日本の新首相に誰が選ばれても財政拡張路線は継続するとの見方も強い。ドル円は一段と下落すると押し目買いが入り、底堅い展開を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。